

あしなが育英会の募金呼び掛ける学生ボランティアら  
＝20日、那覇市の沖縄三越前



## 遺児・母子家庭の支援訴え

あしなが育英会が募金活動



病気や災害など親を失った子どもたちに奨学金を支援するあしなが育英会の学生募金活動が20日、始まった。那覇市の沖縄三越前では学生募金事務局のメンバーや高校、大学の学生ボランティアら約30人が通行人に協力を呼び掛けた。同市のパレットくもじ前、北谷町のイオン北谷店前でも行った。募金は21、27、28日も実施し、27、28日はイオン名護店前でも行う。

高校生の時から奨学金を受けている山内陽平さん(23)は「琉球大3年」は「遺児母子家庭の平均年収は約112万円、月収約10万円という状況だ。この仕組みをもっと知って、必要な人の支えにしてほしい」と訴えた。

学生募金事務局県代表の島袋美咲さん(21)は「沖縄国際大3年」は「大学を辞めようかと思ったが、奨学金ですべている。あしなが育英会は必要な人にすぐ支援できる貴重な存在だ」と語った。